

## [演習林]

# 平成30年度 附帯施設演習林の活動報告

石川 知明

紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター附帯施設演習林長

平成30年度に演習林で行われた活動の概況を報告する。

### 【研究】

三重県林業研究所との共同研究である「スギ、ヒノキ人工林斜面の流亡土砂抑制手法の開発」、ぬたの谷の量水試験地における水文観測、山地渓谷林における森林動態に関する研究、散布後種子食昆虫によるブナ科堅果の利用に影響を及ぼす要因に関する研究、森林生態系の物質循環を指標とした安定的な木質バイオマスの供給、スギ人工林の長期固定試験地の調査、ナラ枯れ被害防除調査、演習林産スギ材を用いた三重大学ブランド商品開発などがあった。

### 【教育】

平成30年度演習林実習等実施計画表に基づいて、16回の実習が行われた。1年生対象のフィールドサイエンスセンター体験演習では、森林の樹木や源流に広がる森林の実態ならびに森林の育成および管理について指導した。2～4年生対象のものは、森林に関連する教育を受ける学生に対して行う、宿泊を伴う実習である。内容は、樹木学、測量学、森林土木学、林分調査法、砂防学、森林利用学など、森林管理の現場で必要になる内容をほとんど網羅している。このように、森林科学、森林管理に密着した実習を実施することで、実践的な人材の育成に努めた。

### 【地域連携・社会貢献活動】

- 高野尾花街道 朝津味との連携事業「美杉産（三重大学演習林）アマゴ釣り体験」イベントに参加した。
- 三重県森林環境教育指導者養成講座（知識編）を演習林で開催した。
- 地元の（有）美杉木材市場で開催された美杉木材まつりに出品し、地元地域の木材産業の活性化に努めた。
- 演習林保全活動「平倉の森へOB集合」の森林ボランティア企画を開催した。

### 【管理・運営】

- 間伐や歩道手入れ作業時に、支障木として切捨てていたアセビ、シキミ、サカキ等の枝物や、谷や林内にある流木を加工し、道の駅などで出荷販売した。また、谷や林内にある流木等も雑貨（木工）商品として同様に出荷した。
- 台風等の影響による倒木・落枝を、チェーンソー等で撤去作業を実施するとともに、岩盤崩落の土砂堆積作業を行った。
- 生産した丸太を地元の木材市場に出荷するとともに、木質バイオマス発電用材を出荷した。
- カシノナガキクイムシの侵入によるミズナラ等のナラ枯れ調査を、伊藤進一郎名誉教授の指導のもと実施した。